

令和7年度 再評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	一般府道交野久御山線歩道等整備事業										
担当部署	都市整備部道路室道路整備課建設グループ（連絡先 06－6944－9276）										
事業箇所	枚方市津田元町 4 丁目～津田駅前 2 丁目										
再評価理由	事業採択後 10 年間を経過した時点で継続中										
事業目的	<p>府道交野久御山線の市道長尾津田線から J R 学研都市線までの本事業区間は、通学路として指定され、かつ J R 津田駅への通勤・通学にも多く利用されているが、現況の歩道幅員が 1.5m と狭隘である。</p> <p>さらに、事業区間東側に近接する枚方市津田南土地区画整理事業の完成に伴い、通学児童及び J R 津田駅へのアクセスとしての通勤・通学等による道路利用者が増加していることから、歩道を拡幅整備することにより歩行者の安全確保を図る。</p> <p>また、一部区間は東行き一方通行であるため、西行き交通が津田駅周辺の狭隘な生活道路を通行するなど、歩行者にとって非常に危険な状況となっていることから、対面通行化することにより生活道路の安全を確保する。</p>										
事業内容	<p>歩道等整備</p> <p>事業延長：0.4 k m</p> <p>幅員：10.0m（歩道整備区間）</p> <p>（現況）車道：2車線〔2.75m×2〕</p> <p>歩道：片側〔1.5m×1〕</p> <p>（計画）車道：2車線〔2.75m×2〕</p> <p>歩道：片側〔3.0m×1〕</p> <p>幅員：9.5m（対面通行化区間）</p> <p>（現況）車道：1 車線〔3.5m×1〕</p> <p>歩道：片側〔1.5m×1〕</p> <p>（計画）車道：2車線〔2.75m×2〕</p> <p>歩道：片側〔3.0m×1〕</p>										
事業費 （ ）内の数値は 事前評価時点のもの	<table><tr><td>全体事業費：約 9.2 億円（約 8.2 億円）〔国：5.0 億円、府：4.2 億円〕</td><td></td></tr><tr><td>（内訳）調査費等 約 0.1 億円（約 - 億円）</td><td>【工事費の内訳】</td></tr><tr><td>用地費 約 8.3 億円（約 7.8 億円）</td><td>交通安全施設工 約 0.6 億円（約 0.3 億円）</td></tr><tr><td>工事費 約 0.8 億円（約 0.4 億円）</td><td>舗装工 約 0.2 億円（約 0.1 億円）</td></tr></table>			全体事業費：約 9.2 億円（約 8.2 億円）〔国：5.0 億円、府：4.2 億円〕		（内訳）調査費等 約 0.1 億円（約 - 億円）	【工事費の内訳】	用地費 約 8.3 億円（約 7.8 億円）	交通安全施設工 約 0.6 億円（約 0.3 億円）	工事費 約 0.8 億円（約 0.4 億円）	舗装工 約 0.2 億円（約 0.1 億円）
全体事業費：約 9.2 億円（約 8.2 億円）〔国：5.0 億円、府：4.2 億円〕											
（内訳）調査費等 約 0.1 億円（約 - 億円）	【工事費の内訳】										
用地費 約 8.3 億円（約 7.8 億円）	交通安全施設工 約 0.6 億円（約 0.3 億円）										
工事費 約 0.8 億円（約 0.4 億円）	舗装工 約 0.2 億円（約 0.1 億円）										
事業費の変更理由	・対面通行化に向けた調査費の追加、用地費の精査及び道路構造の見直し等による工事費の増額。										
維持管理費	約 160 万円／年（年間約 34 万円／千㎡：過去 5 年の実績より算出） （約 150 万円／年）										

2 事業の必要性等に関する視点

	事前評価時点 H27	再評価時点 R7	変動要因の分析
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"><li>平成21年度末：第二京阪道路の供用開始に伴い、第二京阪道路から市道長尾津田線までの区間について、府道交野久御山線を供用開始。</li><li>平成27年度末：枚方市津田南土地区画整理事業が完成予定。</li><li>平成27年度末：J R津田駅北踏切拡幅事業が完成予定。</li><li>周辺道路の交通量 H27 全国道路・街路交通情勢調査 交野久御山線 自動車交通量：2,388台/24h 自転車交通量：132台/12h 歩行者交通量：182人/12h</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>平成21年度末：第二京阪道路の供用開始に伴い、第二京阪道路から市道長尾津田線までの区間について、府道交野久御山線を供用開始。</li><li>平成27年度末：枚方市津田南土地区画整理事業が完成。</li><li>平成27年度末：J R津田駅北踏切拡幅事業が完成</li><li>周辺道路の交通量 R3 全国道路・街路交通情勢調査 交野久御山線 自動車交通量：2,267台/24h 自転車交通量：136台/12h 歩行者交通量：201人/12h</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>H27 から R3 全国道路・街路交通情勢調査では、府域全体で交通量は減少傾向にある。</li><li>枚方津田南土地区画整理事業の完成により、J R津田駅前を利用する歩行者が増加。</li></ul>
地元の 協力体制等	地元市より交通安全対策要望がある。		
	事前評価時点 H27	再評価時点 R7	変動要因の分析
事業の投資効果 ＜費用便益分析＞ または ＜代替指標＞	・交通安全事業における費用便益の分析手法が確立されていない。	・交通安全事業における費用便益の分析手法が確立されていない。	
事業効果の 定性的分析 （安全・安心、活力、 快適性等の有効性）	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>歩車道分離により歩行者の安全が確保される。</li></ul> <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>駅アクセスの利便性が向上する。</li></ul> <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>十分な幅員が確保された歩道により快適性が向上する。</li><li>生活道路の安全性向上に寄与する。</li></ul> <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>道路利用者、地域住民</li></ul>		

	事前評価時点 H27	再評価時点 R7	変動要因の分析
事業の進捗状況 ＜経過＞ ①事業採択年度 ②事業着工年度 ③完成予定年度	① 平成 28 年度 ② 平成 28 年度 ③ 平成 32 年度	① 平成 28 年度 ② 平成 28 年度 ③ 令和 12 年度	対面通行化に向けた関係機関協議による事業期間の延伸
＜進捗状況＞	－	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体 91% (8.4 億円/9.2 億円)</li> <li>・用地 100% (8.3 億円/8.3 億円)</li> <li>・工事 0% (0 億円/0.8 億円)</li> <li>・調査費等 50% (0.05 億円/0.1 億円)</li> </ul>	－
事業の必要性等に関する視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業区間は、枚方市立津田南小学校の通学路であり、平成27年度末に完成した枚方市津田南土地区画整理事業区域とJR津田駅へ連絡する歩道となるため、歩道整備をすることにより、歩行者の安全確保が図られる。</li> <li>・一部区間は東行き一方通行であるため、西行き交通が津田駅周辺の狭隘な生活道路を通行するなど、歩行者にとって非常に危険な状況となっていることから、対面通行化することにより生活道路の安全を確保する。</li> </ul> 以上のことより事業の必要性に変わりはない。		

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点	<p>平成28年～令和3年度：用地買収</p> <p>令和3～6年度：測量業務及び交通量推計業務、設計業務</p> <p>令和7～10年度：設計業務及び関係機関協議</p> <p>令和11～12年度：歩道等整備工事</p> <p>用地買収に時間を要したが、令和3年度までに用地買収を完了。その後、道路設計及び関係機関協議に着手しており、引き続き協議を進め、事業進捗を図る。</p>
--------------	--

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	<p>【コスト縮減】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生土の公共工事間流用や再生材を使用することにより、コスト縮減に努める。</li> </ul> <p>【代替案立案等の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地については、事業全体で100%取得済みである。</li> <li>・歩行者等の安全を確保するためには、車両と歩行者等の通行を分離できる歩道整備を行うことが最善策である。</li> </ul> <p>以上のことから、原案が適切である。</p>
---------------------	---

### 5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	・周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に影響をあたえることはない。
事前評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	－
上位計画等	大阪府都市整備中期計画(R3.3改訂)
その他特記事項	－

### 6 評価結果

評価結果	<p>○事業継続</p> <p>＜判断の理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府道交野久御山線の市道長尾津田線からJ R学研都市線までの区間は、通学路に指定され、かつJ R津田駅への通勤・通学にも多く利用されているにも関わらず、現況の歩道幅員が1.5mと狭隘である。</li> <li>・歩道整備により、歩行者等の安全確保が図られる。</li> <li>・対面通行化による周辺道路からの交通転換により、津田駅周辺における生活道路の安全性向上が期待される。</li> <li>・地元市より早期整備要望がある。</li> </ul> <p>以上の理由により、事業を継続する。</p>
------	--

平面図

至京田辺

枚方市立津田南小学校

一般府道 交野久御山線  
事業区間 L=400m

対面通行化区間

歩道拡幅区間

写真①

写真②

写真③

踏切拡幅箇所

津田駅

至京橋

大阪府住宅供給公社  
津田土地区画整理事業  
(住宅ゾーン)  
津田くみ坂

枚方市津田南  
土地区画整理事業

府道交野久御山線

JR山手線

津田土地区画整理事業

0 100m

N

## A photograph of a road intersection. In the foreground, a paved road with white dashed lines leads to a crosswalk. A traffic light pole stands at the intersection, with the light showing red. To the left, a green hillside rises. In the background, more hills and power lines are visible under a blue sky with scattered clouds. A small vehicle is visible in the distance on the road.

(単位:m)

**整備前**

対面通行化区間

**整備後**

対面通行化区間

(单位:m)